

# 自然体でつながる「豊田前地域協育ネット」の推進

【美祢市 豊田前中学校区】

## 地域の概要

豊田前地区は美祢市の西部にあり、観光地秋吉台カルスト地帯に連なる山間の地です。人口は最盛期の昭和38年頃の9,800人で、炭坑町として栄えていましたが、過疎化が進み、現在1,100人余りです。

過疎化対策として、美祢社会復帰促進センターが建設され、人口定住に努力しています。産業の中心は農業であり、ほとんどが兼業で共働きの家庭が多いのが特徴です。

人口	1,129人	
世帯数	544世帯	
対象校及び児童生徒数	豊田前中学校	18人
	豊田前小学校	44人

## 組織の内容

### 豊田前地域協育ネット 協議会の構成

会長（1名）社会福祉協議会（2名）  
 公民館運営審議会（1名）  
 婦人会（1名）地域見守り隊（2名）  
 市体育指導員（1名）  
 県スポーツ推進委員（1名）  
 小・中PTA会長（2名）  
 小・中学校長（2名）  
 中学校教職員（2名）行政職員（3名）  
**計 18**



平成20年から3年間委託された「学校支援地域本部事業」の際に設立された「豊田前地域教育協議会」が組織の前身です。平成23年からは補助事業となり、組織名も「豊田前地域協育ネット協議会」と改名し、新たに小学校関係者も加わって、今年で2年目を迎えています。協議会では、豊田前地域の風土・特色を生かした学校支援のあり方を中心に協議を進め、地域から支援ボランティアを募集し、支援の拡充を進め、できるだけ多くの地域の方と児童・生徒の交流を図るとともに、学校も地域に貢献するための方策を探り、よりよい連携・協働のあり方を模索しています。

運営予算の合理化に伴い、事業の内容について、より知恵と工夫を凝らしたものが求められておりますが、今後も無理なく自然体で継続していけるように、学校、地域、行政が一体となって、地域の子どもたちを見守り、支援するためのよりよい仕組みづくりの推進に努めています。